

普及項目	担い手
漁業種類等	養殖業
対象魚類	ノリ
対象海域	熊本有明海

有明地区漁業士会による「漁業体験教室」の開催支援

県北広域本部水産課・直江 瑠美

【背景・目的・目標（指標）】

有明地区漁業士会（以下「漁業士会」という。）では、漁業・漁村地域を身近に感じてもらい、漁業への理解を深めてもらうことを目的として、児童を対象に平成10年（1998年）から令和元年（2019年）まで、地びき網漁業体験教室やノリ手すき体験教室を実施してきた。

令和4年度（2022年度）からは、小学校における「ノリ出前講座」を実施し、有明海の基幹産業であるノリ養殖業について児童の理解促進を図るとともに、漁業士会の活動や熊本県産ノリのおいしさをPRするため、当課は、同会の事務局として、これらの取り組みが円滑に実施されるよう開催を支援した。

【普及の内容・特徴】

（1）地びき網漁業体験教室（図1, 2, 3）

日 時：令和7年（2025年）6月7日（土）13時00分～16時30分

場 所：松原海水浴場（熊本県玉名市岱明町鍋）

参加者：長洲町少年野球、玉名町子供会、岱明少年野球、鍋小学校の児童・保護者
合計108名、漁業士会会員7名、事務局等12名

内 容：学習会では、有明海の自然環境や漁業についての理解を深めてもらうために、有明地区漁業士会副会長からノリの生産工程を説明し、持参したノリ網、伸子棒、ラッカサンなどの漁具を紹介した。また、熊本県産の「焼き海苔」を試食してもらうことで、熊本県産水産物への関心を高める契機となった。事務局からは、有明海の特徴や地びき網漁業を体験するにあたっての注意点等を説明した。

地びき網漁業体験では、地元の「地引網保存会」の協力を得て、児童や保護者、漁業士が一丸となり曳網した結果、大量のヒイラギ、チヌ、グチ、スズキ等が漁獲され、児童は喜んで漁獲物を手にしていた。地びき網漁業体験後は、漁業士が、地びき網で獲れた魚について名前当てクイズを交えながら説明し、漁獲物は、参加者が各自持ち帰った。最後に海浜清掃を行い、漁業や漁業環境への理解醸成を図った。

（2）ノリ出前講座「おいしいノリができるまで」（図1, 4, 5）

日 時：令和7年（2025年）9月4日（木）13時45分～14時30分

場 所：益城町立津森小学校

参加者：児童（4年生1クラス）21名、教員3名
（講師）漁業士会会員2名、事務局1名

内 容：講座では、漁業士が講師となり、小学校4年生を対象に「おいしいノリができるまで」をテーマに、ノリの生産工程や養殖に使用する漁具等について説明した。併せて、熊本県産の「焼のり」を全児童及び教員約130名に配布し、漁業士会活動や熊本県産海苔のPRを行った。

【成果・活用】

地びき網漁業体験教室では、参加した児童から「地元の海にたくさんの種類の魚がいることに驚いた」、「魚の名前当てクイズが楽しかった」といった声が聞かれ、地域の海や漁業への関心を高める機会となった。

また、ノリ出前講座は、1 市町 1 小学校から講座の依頼を受けることができ、児童や教員に対し、漁業士会の活動や熊本県産ノリの魅力を PR することができた。また、児童の質問に漁業士が丁寧に答えたことで、ノリ養殖業への理解が深まり、「将来はノリ養殖業者になりたい」という声が聞かれ、漁業への関心を高めることに繋がった。

【達成度自己評価】

4 目標（指標）はほぼ達成できた（76～100%）

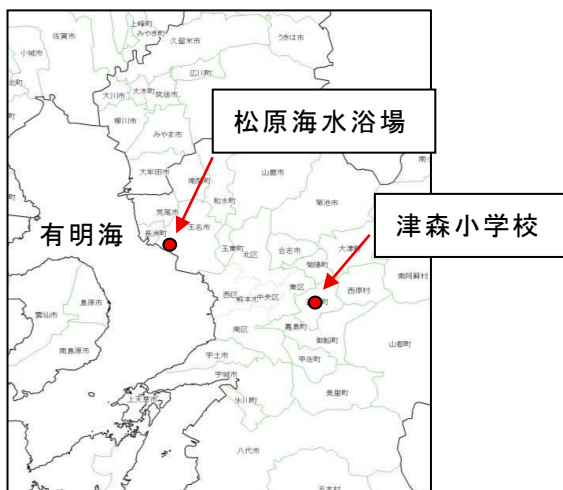


图 1 位置图



図 2 ノリに関する学習会



図3 地びき網漁業体験教室



図4 ノリ出前講座



図5 ノリ網を広げた様子